

自然素材で作るリース工作

「第7回クリスマス★リースをつくいませんか」

平成20年12月10日(水)～12日(金)

千葉森林管理事務所にて開催しました。

森林から採集してきた様々な自然素材を使ってリースを作って頂く当所の公募イベントも、今回で7回目となりました。3日間を通して61名の皆さんが集まり、リース作りに取り組みました。

今回の作品

金と銀を使ったきらびやかなリース。彩色はスプレーペンキです。



アクセントになっているのは赤く塗ったブナの実

リボンやオーナメント等、当所で用意しているもの以外のものを飾りたいという方には、ご自分で材料を用意して頂いています。



リボンを持参して



アイビーとローズマリーを持参して

「クリスマスリース工作」とはいつでも、イベントの中では自由に作って頂いています。皆さんの工夫とこだわりで、色々なリースが出来ました。

「これぞクリスマスリースというものにしたい」

緑の枝葉で土台を覆い、
マツボックリとヒイラギを時計状に配置



「お正月用の飾りにしたい」

ウラジロとナンテンで和風リース



「季節を問わずに飾っておきたい」

木の実をふんだんに使った
色あせないリース



筒森見本林のご紹介

土台となるツル、飾りにする枝葉や木の実は、千葉森林管理事務所管内の国有林から採集してきました。特に大多喜町会所の筒森自然観察教育林の中にある見本林は、多様な木の実の宝庫となっています。

この見本林は、大正14年から昭和3年にかけて造成され、当時、職員の樹木の勉強のために使われたということです。

日本の主要な樹木その他、数種の外国の樹木が生育しており、見本林内をぐるりと歩くと、色々な種類の木々が落とした木の实を見つけることができます。

房総に限らず、日本各地からの樹木を集めた見本林となっており、トガサワラによ

うな、千葉には自生していない木にも出会うことができます。

機会がありましたら、是非、樹木の観察に見本林を訪れてみてください。

**見本林内にあるトガサワラとその実
紀伊半島と高知県の限られた地域に分布**

